

法務大臣に署名提出

上川大臣「皆さんの想いと住民の活動に感謝」



代表者の署名1807筆

令和2年9月30日(水)アレフに対する「観察処分」の更新を求める署名を法務大臣、公安調査庁長官に提出しました。オウム真理教対策関係市区町連絡会会長の足立区長を中心に関会議員(馳衆議院議員、鴨下衆議院議員、岡本衆議院議員、ほか5名)区議会議員(足立区から鹿浜議長、たがた区議、ほか世田谷区から2名)、全国のオウム対策住民協議会(足立入谷、世田谷烏山、石川県金沢)、足立区町会・自治会連合会の羽住会長が参加しました。「観察処分の更新」を求める要請書が東京都町会連合会から、「観察処分の更新」を求める意見書が藤岡市、八潮市、野田市、世田谷区、金沢市、甲賀市の各議会から提出されました。なお、東京都議会、足立区議会からは10月20日に意見書が提出されました。

近藤やよい足立区長から上川陽子法務大臣に対し、「コロナ禍において、これまでのように街頭での署名活動を行えなかったが、様々な代表者の皆様から署名していただきました。署名は足立区だけでも1807筆だが、その裏には100万人を超える方々の想いが入っ

た署名です。ぜひ今回も観察処分の更新をお願いしたい」と観察処分の更新の強い想いが伝えられた。上川大臣は「皆さんの想いと住民の活動に感謝したい」と返事されました。また、「年2回のデモや毎月実行委員会を開催し、オウムが、もうここに居られない」と思わず事を言う次第です。

観察処分の更新を求める署名を提出してまいりました

足立入谷地域オウム真理教(アレフ)対策住民協議会
会長 水上久志

9月30日、足立区町会・自治会連合会羽住会長、世田谷区、金沢市の住民協議会会長とともに、オウム真理教対策関係市区町連絡会の法務大臣要請、公安調査庁長官要請に同行し、皆様からご協力いただいた署名の提出、今回は札幌市と愛知県豊明市の住民協議会からの署名もお預かりし、今回の観察処分更新を代理で提出してまいりました。求める署名活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、個人ではなく団体代表者による署名をお願いすることになりましたが、100万人以上の皆様を代表する1807筆もの署名を、また、皆様にもご参加いただきました。東京都町会連合会の常任理事でもある羽住会長の尽力により東京都町会連合会常任理事連名の要請書をいただくことができました。ご協力いただきまして、本当にありがとうございます。

オウム真理教後継団体はまだまだ監視を続けなければならないという皆様の意志を感じても心強くありません。お預かりした署名はすべて法務大臣と公安調査庁長官へ、また、今年は、皆様からの署名に加えて、東京都議会からはオウム真理教のみは初めて、足立区議会からは平成22年以来10年ぶりに意見書を提出していただきました。意見書は全議員の賛成がないと議決されないと聞いております。都議会オウム真理教対策議員連盟の高島会長、足立区オウム真理教対策議員連盟のたがた会長には大変ご尽力いただきたくもありがたく、また心強く思います。アレフが解散、撤退する日まで、署名にご協力いただいた皆様のお気持ちを糧に、活動していきたいと思っております。

コロナ禍 抗議デモ中止に 「抗議文」は教団へ郵送

3月28日の抗議デモに続き、11月7日に予定しておりましたデモも新型コロナウイルスの感染拡大により、残念ながら中止いたしました。誠に申し訳ありません。3月31日頃を予定しております。

デモは中止となりまします。日程が決まりまします。教団への抗議文は、ししたら新聞の折り込み広告や町会の回覧等でお知らせいたします。大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

抗議文

我々は、足立入谷地域オウム真理教(アレフ)対策住民協議会である。この建物に住むアレフのみならず、よくよく聞いてほしい。

今年でオウム真理教が起こした地下鉄サリン事件から25年たつ。地下鉄丸ノ内線・日比谷線・千代田線の車内において化学兵器に使用されるサリンがまかれた。この事件で13名が死亡し、6300人が負傷した。

オウム真理教に対する強制捜査を妨害するために、教祖である松本智津夫が部下に指示して行わせたものである。

アレフは地下鉄サリン事件を知らない若い人を勧誘して、組織拡大を図っている。アレフであることを隠して、ヨガ教室とか占いなどといって親しみを感ぜさせて、オウム真理教が起こした事件を知らない人たちを勧誘している。不正な方法で許されない。

地下鉄サリン事件をはじめとする重大犯罪は教祖である松本智津夫の指示により行われた。そのため、おとし7月、松本智津夫をはじめとする死刑囚13名の死刑が執行されたが、教団はいまでも松本智津夫を教祖として崇拝し、その言葉や教えを使用している。

教祖が引き起こした事件を反省していただければ、松本智津夫とのかかわりを断つのが当然である。いまだ松本智津夫とのかかわりを断とうとしないアレフは、重大事件を引き起こしたオウム真理教と同じである。

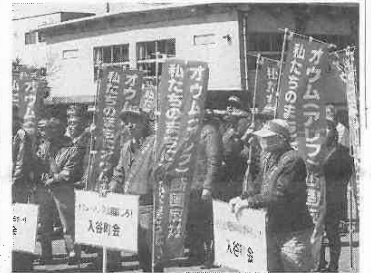
我々はアレフに対して強い警戒心を持たざるを得ない。

来年はアレフに対する観察処分の更新が行われる。

我々は、4月から更新のための署名活動を、全国の同志とともに進めていく。あなた方の団体が解散するまで断固戦い抜く。

令和2年11月7日

足立入谷地域オウム真理教(アレフ)対策住民協議会



平成31年3月17日の抗議デモ



平成30年11月10日の抗議デモ

協議会の活動を毎日新聞が掲載 速やかな退去と解散を求め続ける

先日、水上会長が毎日新聞の記者から協議会の活動について取材を受け、10月27日の朝刊に記事が掲載されました。記事の中から水上会長のコメントなどを抜粋して掲載します。なお、記事全文は毎日新聞のインターネットサイトに有料記事として掲載されています。

▼オウム真理教後継団体に対する観察処分の更新請求は今回で7回目となる。

▼足立入谷施設周辺で団体の解散を求めて活動している住民協議会には、教団元幹部の死刑執行を機に、「カタが付いた事件でしょ」「まだ運動やる必要はあるのか」といった声が多く届いている。

▼水上会長は「後継団体の信者がどんな生活をして、何を考えているのかを分らない。観察処分の更新は絶対に必要だ」と強調する。

住民の様々な声と数々の困難に直面している住民運動ですが、私達住民協議会は、オウム(アレフ)の速やかな退去と団体の解散を求める活動を止めません。「意識なくして行動な」なぜ今でもオウム(アレフ)に反対するのかオウム真理教が起こした一連の事件(地下鉄サリン事件25年経過)を知らない若者がオウム存続の為信者勧誘として狙われている。この現状を教団施設のある地域で語り続けて行かねば、あの悲惨な事件が再び起きてしまう。

我々はオウム真理教が解散するまで叫び続け「オウム・反対 アレフ・反対 絶対反対」

協議会活動報告

(令和2年 7月1日から 令和2年11月30日まで)

7月10日 第21号オウム対策住民協議会ニュース 発行
9月30日 法務大臣に署名提出(観察処分の更新)
11月7日 デモ行進 中止

☆その他 役員会 6回、実行委員会 4回開催

募金・協賛金

(令和2年 7月1日から 令和2年11月30日まで)

7月31日	アイキ工業株式会社 様	10,000円
"	川口市朝日5丁目町会 様	5,000円
"	川口市朝日6丁目南町会 様	5,000円
"	川口市朝日6丁目北町会 様	5,000円
"	川口市末広3丁目町会 様	5,000円
"	川口市弥平2丁目町会 様	5,000円
"	川口市弥平3丁目町会 様	5,000円
"	川口市弥平4丁目町会 様	5,000円
9月12日	入谷町会助成金	150,000円
計	9件	195,000円

皆様の御協力、ご支援ありがとうございました。

募金・協賛金のお願い

協議会の活動は、募金・協賛金で運営されています。安全・安心な町をとり戻すために、是非皆様のご支援・ご協力をお願いします。

足立入谷地域オウム真理教(アレフ)対策住民協議会
東京都足立区舎人 1-3-26 電話 080-2378-3537